

国勢調査の趣旨

氏

名

調査対象として誰が調査されたか、各調査事項が誰について記入されたものであるかを確認し、調査もれや重複調査を防止するためのものです。また、調査票に記入もれなどがあった場合に問い合わせの手がかりになるものです。

男・女の別

人口についての最も基本的な属性であり、人口についての統計では不可欠の項目です。年齢別の人口や就業状態など多くの面で、男女別にみた構造が違いがあるため、各種行政施策を進めた結果は男女別に表されます。

世帯主との続柄

人口についての最も基本的な属性であり、人口についての統計では不可欠の項目です。年齢別の人口や就業状態など多くの面で、男女別にみた構造が違いがあるため、各種行政施策を進めた結果は男女別に表されます。

出生の年月

人口についての最も基本的な属性であり、この項目から得られる年齢に関する統計は高齢化が進む我が国の人口構造の分析や将来人口の推計のために欠くことのできないものです。

配偶者の有無

人口の年齢区分ごとの配偶関係を明らかにするものであります。

国

籍

日本に住んでいても、日本人と外国人とは法律上の義務や権利が異なっています。そのため、行政を行うために日本と外国人とに分けた人口を把握するためのものです。

仕事をしたか

国民の就業状態を把握し、経済活動の実態を全国および地域別に明らかにするためのものであります。男女・年齢別にみた産業・職業などの結果は男女別に表されます。

どうかの別

この項目は、就業者が仕事をしている会社・工場・事務所などの事業所でどの事業が営まれているのかという、いわゆる「産業」を把握し、我が国の人口の経済活動の実態を明らかにするためのものです。

本人の仕事の種類

この項目は、就業者一人ひとりが勤める会社・工場・事務所などで実際どのような仕事に携わっているかという、「職業」を把握し、我が国の人口の就業構造の実態を明らかにするためのものです。

世帯員の数

世帯調査では、第一に人の構成員全員が重複やもれ口を正確に把握することが基本となります。この項目は、調査の単位である世帯の構成員全員が重複やもれ口を正確に把握することなく確実に把握されているかどうかを確認するためのものです。

従業地または通学地

通勤・通学による人口の動きや、いわゆる昼間人口に関する統計をつくるための基礎資料となる世帯の関係を示すもので、世帯に関する統計をつくるための基礎資料となる世帯の型を区分するうえで不可欠のものです。

世帯の種類

世帯の生活の場である住居の状況と世帯構成との関係を明らかにするためのものであります。持ち家に住む世帯の規模、世帯人員などと組合せ得られる統計は、世帯の構成員全員が重複やもれ口を正確に把握することなく確実に把握されているかどうかを確認するためのものです。

勤め先・業主の名称

この項目は、就業者が仕事をしている会社・工場・事務所などの事業所でどの事業が営まれているのかという、「職業」を把握し、我が国の人口の就業構造の実態を明らかにするためのものです。

で、男女・年齢・世帯主との組合せ、世帯の構成員などと組み合わせて得られる統計は、将来人口の推計や出生力の分析のために不可欠の資料となります。

であるため、雇用に関する施策や経済構造の分析には男女・年齢・産業・職業など組みあわせてみた就業形態別の就業者数の資料が必要となります。

住宅の規模に関する資料を得るために、住宅の規模・所有関係や世帯の規模・

住宅がどのように建築されたかに對する志向の変化を

住戸状況に関する地域別の詳細な統計は、住宅政策や地域開発のための不可欠な資料となります。

住宅の建て方

住宅がどのよう建築されたかに對する志向の変化を

住宅の型状とその地域特性などとの関係を明らかにするためのものです。この項目から得られる統計は、我が国の住居は一戸建の住戸となります。

住宅が大きな比率を占めていますが、大都市においては特に土地の有効利用をかけた人口も必要になります。そのため、住宅の共同化や高層化が進められており、さらにはこの傾向が、郊外や地方都市にも拡大しています。

住宅がどのよう建築されたかに對する志向の変化を

住宅がどのよう建築されたかに對